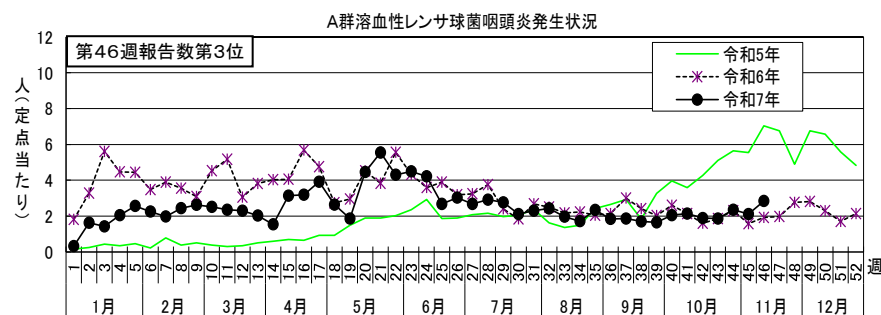
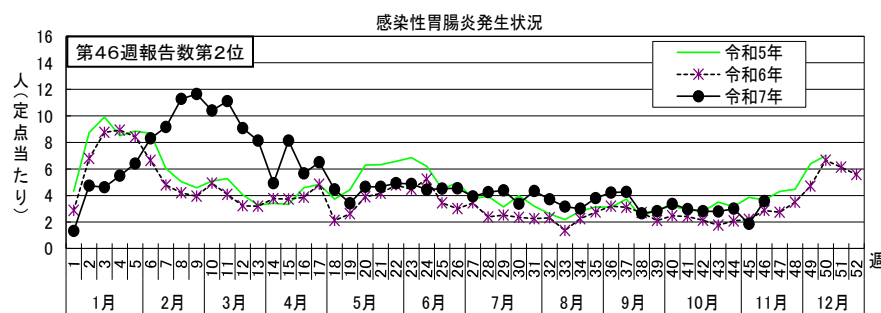
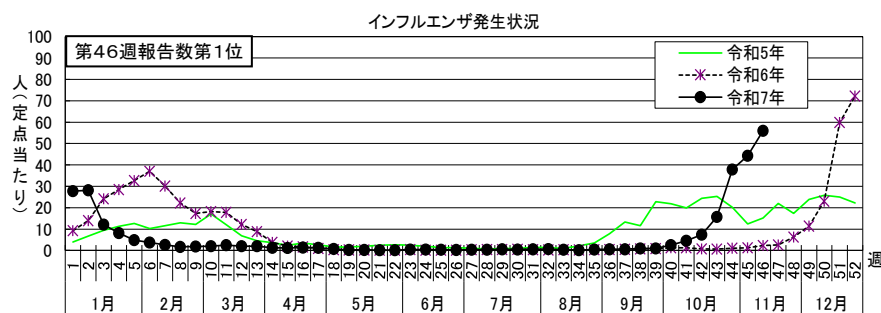


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年11月10日（月）～令和7年11月16日（日）〔令和7年第46週〕の感染症発生状況

第46週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は55.93人と前週（45.42人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.57人と前週（1.86人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.84人と前週（2.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



国内で麻しん（はしか）の感染例が報告されています！

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする急性感染症で、感染力が非常に強く、患者と同じ公共交通機関を利用することで感染する場合があります。国内では排除状態にありますが、今年は渡航先での感染例と、その二次感染例が全国で報告されています。

麻しんは1～2週間程度の潜伏期間の後、発熱や発しん、結膜充血等の症状を呈します。疑わしい症状がみられた場合は、医療機関に電話等で連絡してから受診しましょう。また、発症の前日から解熱後3日までは周囲に感染させる可能性があるため、受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用は避けましょう。

麻しん・風しん(MR)定期予防接種の対象者

【第1期】

生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

【第2期】

小学校入学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）

令和6年度中に接種を行えなかった方は
接種期間が延長されています！

<対象者>

【第1期】

令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれの方

【第2期】

平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの方

<接種期限>

令和9年3月31日まで



麻しんとは？

【感染経路】

空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

7～18日間（最長21日間程度）

【主な症状】

発熱、発しん、咳、鼻汁、結膜充血など

【予防方法】

麻しん含有ワクチンの接種



【感染可能期間】

発症

感染力が
特に強い

発熱
1日前

発熱

発しん

解熱

解熱
3日後

周囲への感染可能期間